

# 政を問う



五位塚 剛 議員

## 入札制度の改革は

市長／郵便・電子入札は検討中である

**五位塚剛議員** 本市の入札制度の改善点について検討されているものは何か。

**池田市長** 郵便による入札・電子入札については検討中である。指名業者については、6月から事後公表に改めている。  
**問** 市内業者の育成と技術

### 末吉中学校普通教室棟改築本体工事

入札日 平成19年8月24日  
 予定価格 594,877,500円（消費税含）  
 落札価格 577,500,000円（消費税含）  
 落札業者 渡辺・川畑特定建設工事共同企業体

	入札業者名	入札価格
1	渡辺・川畑特定建設工事共同企業体	550,000,000
2	新生・川原田	561,500,000
3	植村・鎌田	560,000,000
4	内村・村岡	562,000,000
5	久徳・有馬	559,000,000
6	前田・米満	561,000,000

術向上のためにも、条件付き一般競争入札導入は基本であるが、入札の透明性は確保できるか。  
**市長** 平成20年1月から条件付き一般競争入札を試行していく。建設業者の財務、経営状況、技術力などを審査し、透明性の高い入札ができると考

### 水道事業について

**問** 安全・安定供給の水道事業体勢はできているか。

**市長** 4月から末吉支所に水道課を設置し、管理部門と設計施工について水道課で対応している。財部・大隅でも対応できる体勢である。  
**問** 新築住宅等の増加にともなって、本管から枝管に給水管接続が増えて水圧が低下した場合どうするのか。

**市長** 本管より給水管を引いて水量が不足する場合は、その周辺の加入状況を調査し本管の布設替えを行っていく。  
**問** 自治会独自の水道組合が、市の水道事業への編入の要望があれば可能なのか。

**市長** 自治会からの編入の要望があっても、すべては編入できないと考えている。個人負担や水道料金等の全てを同意頂ければ検討していく。

### 議会の一般質問を有線放送とインターネットで

**問** 議会の一般質問を

有線放送やオフトーク、そしてパソコンのインターネットで公開を早急にすべきではないか。  
**市長** 有線放送などは行政のお知らせであり、一般質問を放送すると長くなり、不可能と思う。インターネットでの公開は経費等も調査したいと思うが、議会で集約が必要ではないかと考える。

**問** 曾於市のホームページは内容が古く、対策を考えるべきではないか。

**市長** 曾於市のイベントや観光、福祉など14項目がある。古くても必要なものもあるが、今後見直しの必要なものもあるので、整備していく。

### 市営住宅活性化住宅建設について

**問** 曾於市の人口を増や



水道管布設替工事の様子

すためにも農村部の小学校の生徒を増やすためにも、所得制限なしの活性化住宅建設が必要ではないか。

**市長** 柳迫地区より入居希望者が提出されているが、平成20年度21年度で2地域の住宅建設を予定している。

**問** 現在、柳迫地区しか具体的に要望がないため、はつきりと20年度より建設を進めるべきではないか。

**市長** まだ柳迫地区をすすめるつもりはない。今後考える。

# 市

## 一般質問 6議員登壇



漆間 純明 議員

### 自治会再編統合は

市長／推進に取り組む



統合した七村自治会

**漆間純明議員** 自治会再編統合のその後の成果と現状は。

**池田市長** 昨年統合されたのは、末吉の和田自治会、本年度財部の七村自治会の2カ所であり、現在491自治会である。

**問** 自治会組織の実態を3支所ごとに、自治会の平均戸数及び人数、自治会長平均年齢・平均経験年数、自治会活動の主な内容はどうか。

**市長** 大隅7校区141自治会、4,539戸、末吉13校区226自治

験年数は1・8年、各自治会活動の主な内容実態は、花見、六月灯、敬老会、観音講や馬頭観、十五夜、グラウンドゴルフ、道路作業等。自治会長の決め方は、話し合い、選挙、輪番制となっている。

**問** 今後の推進の方向付けは。

**市長** 市政説明会や広報でのお願ひ、自治会統合補助金特例を平成22年3月31日まで2年間延長する。

**問** 推進についての紙面、会合等説明だけでは

会、5,948戸、財部4校区123自治会、3,608戸。

1自治会あたりの平均戸数及び人数は、30戸74人。自治会長の平均年齢60歳、自治会長の平均経験年数は1・8年、各自治会活動の主な内容実態は、花見、六月灯、敬老会、観音講や馬頭観、十五夜、グラウンドゴルフ、道路作業等。自治会長の決め方は、話し合い、選挙、輪番制となっている。

**問** アンケートをとられていたようだが、私はアンケート等の意識調査では進まないと思う。市として自治会再編に向けた手順（シナリオ）を明確に打ち出し、基本的な考えを示し、住民に周知徹底をお願いし、大隅中統合同じようにメリット・デメリットを一つずつあげ、丁寧に説明する姿勢が必要ではないか。

**市長** 文書により補助金制度の紹介をしており、現在自治会に向向いての活動はしていない。要請を受ければ出向いていくことになる。

なく、各支所管内を熟知したOB職員並びに社会人を交えた推進室なるものを立ち上げ、直接出向き推進していく考えはないか。

**市長** 文書により補助金制度の紹介をしており、現在自治会に向向いての活動はしていない。要請を受ければ出向いていくことになる。

### 公営住宅政策空屋対策団地について

り組む考えはないか。

**市長** 組織を立ち上げていないので、先程言われたような方法でOB、民間人を入れた組織を早急に立ち上げ、推進に取り組む。

**問** 現時点の実態、家屋解体の時期、それぞれの面積、今後の跡地利用の考え方は。

**市長** 政策空家及び用途廃止したが、未解体住宅の解体を急ぐべき住宅は次のとおりである。

財部支所管内は、鳥越団地の建て替えに伴う解体であり、20年度6戸、21年度6戸、22年度3戸の計15戸を解体し、13戸を新築する。

末吉支所管内では、菅渡第3団地の非現地建て替えに伴う解体であ



解体される平原団地

り、平成20年度4戸、21年度6戸の計10戸を解体し、13戸を新築する。

大隅支所管内は、解体すべき空き家19戸、用途廃止済みで未解体空き家が16戸の計35戸。平成22年度から3カ年で年次的に解体する。全戸解体で更地になるのは平原団地1,474㎡、小平団地1,730㎡であり、今後有効利用を図っていく考えである。空き家住宅もあるので新築は現時点では考えていない。

以上の解体完了時の経費は約3,000万円である。

# 活力ある自治体づくりを

市長／精力的に進めていく



迫 杉 雄 議員

**迫杉雄議員** 合併後、多くの施策が実施されてきたが、それらの成果をはかる人口は減っている。今後、人口の推移についてどのような所見をお持ちか。

**池田市長** 平成17年7月1日合併当時は44,068人であった人口も平成19年8月1日現在では、43,012人となり、1,056人の減少となっている。原因は社会動態で転入者3,233人、転出者3,641人でマイナスイナス418人、自然動態では

出生者577人、死亡者1,215人のマイナスイナス638人で合計マイナスイナス1,056人である。  
**問** 財部会、弥五郎会、末吉会等を利用し、本市は南の食糧供給基地であり、消費地へのトップセ

ールズ並びに企業誘致に市長はどう対応しているか。  
**市長** ふるさと会の総会などに出会った時には、地元特産品のPRに努め、県が主催する企業誘致懇談会へは積極的に参加して企業誘致活動を実施している。その他、東京、大阪への出張の際には進出意向のある企業へ積極的に足を運んでいく。今後も都市交流アドバイザー19名の方々と地



各地区で行われるふるさと会

元出身の方々の情報、県事務所との連携を深めながら、特産品のPRや企業誘致活動を精力的に進めていく。  
**問** 本市3町関連道路と環状線の整備促進と点検はどのような状況であるか。  
**市長** 財部、末吉を連絡する道路として、柳井谷・荻原線、緩毛原・七村線、馬立・通山線、市之坂線、上村・光神線の改良を実施し、また大隅 末吉を結ぶ道路として笠木・柳井谷線、光神・安之尾線は完成しており、現在、椿・梶ヶ野線、笠木・かんじん松線、土成・柳井谷線の改良をしている。

次に環状線へ位置付けた道路は国道0・5km、県道50・5km、市道23・5kmの計75・5kmとなっており今後も環状線の整備促進には努力する。

## 市長のマニフェストの達成率について

**問** 財部は北の玄関口、末吉は中央の玄関口、そして大隅は南の玄関口としての整備と特色ある町おこしをどのように進めるか。

**市長** 本年度予算で財部駅の建て替え、あわせて駅に接続する県道の整備を要請している。末吉は



役場通線改良工事現場

市役所玄関、駐車場の整備や道路の拡張に取り組んでおり、大隅は東九州自動車道整備に伴うアクセス道路の整備や弥五郎通り線の改良が進んでいる。

・**その他の質問**  
人口減に伴い限界集落自治会消滅の恐れ

# 畑かん営農体系の確立を

市長／14品目で実証している



山下 諭議員

**山下 諭議員** 曾於市は畑地帯であり、その収益をあげる一方策として畑地かんがい事業を東部地区（旧末吉町）、北部地区（旧財部町、大隅町、末吉町）の2地区で実施している。この現状はどうなっているか。



畑かん利用のスプレー菊ハウス

**池田市長** 東部地区は受益面積3,130ha（うち旧末吉町1,000ha）、受益戸数4,018戸（旧末吉町1,599戸）、北部地区は2,052ha、3,914戸で、水が直接畑にくるのを東部地区平成23年度、北部地区平成29年度の計画で実施している。

事業の進捗率で、東部国営100%、県営71%、北部国営34%、県営0%である。

**問** 白菜、西瓜の中心産地である旧大隅町の南地

区は、区域外となつている。理由とその対策は。

**市長** 旧大隅町の南地区、244haの畑地帯が曾於南部地区（ダム旧輝北町）として計画されたが、当時同意が得られず、県単事業でも計画したができず、現在は推進していない。曾於南部畑かんの追加事業として実施するのは不可能であるので、別な方法で検討する。

## 畑かんの営農体系は

**問** 畑までの通水はすぐそこまできている。畑かんの目的である農業収益を上げる営農体系、その推進体制は。

**市長** 市内には東部で1

## 畑かん事業の概要

地区	東部		北部	
	ダム	ダム以外	ダム	ダム以外
事業申請年月日(国営)	昭和59.10.15		平成 8. 9.12	
(県営)	昭和60. 3.12		平成19. 7.23	
事業採択年月日(国営)	昭和60. 3.14		平成 9. 2.18	
(県営)	昭和61. 4. 1		20年度	
事業完了予定年度(国営)	平成19. 9.30		24年度	
(県営)	23年度		29年度	
国営事業費(億円)	591.3		359	
同上負担割合%国	84	80	84	80
県	11.4	12.45	10	10
地元	4.6	7.55	6	10
県営事業費(億円)	131		107	
同上負担割合%国	50		50	
県	29.75		29.75	
地元	20.25		20.25	
受益面積(ha)	1,000(全体3,130)		2,052	
受益戸数(戸)	1,599(全体4,018)		3,914	
実証圃数(戸、圃場数)	末吉 4		財部7、大隅3、末吉3	

※市長の答弁資料により作成

団地4名で4品目、北部で4団地13名で10品目の実証圃を設置している。計画的な定植、早期収穫、増収、商品化率の向上等の成果が実施されている。

水利用効果の高い品種として路地で11品目、施設で8品目を選定しているが、市の気象条件、農業生産状況等から南瓜、里芋、ごぼう、白菜、大根、キャベツ、茶、菊類は有望と考えている。

推進は曾於市畑地かんがい営農推進本部を設置し行っている。

**問** 地質、気象条件がほぼ同じである都城盆地の一隅、県境の母智丘の下に、宮崎県農業試験場畑作園芸支場と独立行政法人である九州沖縄農業研究センター都城畑地研究拠点(旧国立)がある。鹿児島県の農業試験場で串良町にあった畑作部門が南薩に移転した現在、ここを活用する考えはないか。

**市長** 大隅半島にこのような施設がなくなったことには不満を持っている。利用する方向で検討をお願いしていく。

**問** 7月参議院議員選挙時に現在までの経営規模拡大で我が国の農業を維持する農政に対して、民主党は「全販売農家への所得補償制度」を公約した。市長の評価は。

**市長** 農家の経営を支える農家所得安定対策としての公約で、関心を持って見守っているが、具体的内容が不明で実現可能な政策であるかを見極めたい。

参議院議員選挙公約への評価は

# 敬老祝い金の全員支給を 70歳以上は減少傾向

市長／節目支給は合併協議会で  
決めて頂いた



徳峰 一成 議員

**徳峰一成議員** 現在と今後の70歳以上の人口を聞きたい。

**池田市長** 現在は1万1,050人、平成22年1万676人、平成27年9,869人、平成32年9,569人と予測している。

**問** 今後人口が減少傾向であり、今年の節目支給の予算を使って1人3千円なら、将来にわたって全員に支給できる計算になるのではないか。

**市長** 大体そのようになると思う。

**問** 市長が市民と対談さ

れた感想を聞きたい。

**市長** 全員支給の意見が半分、節目支給の意見が半分であった。

**問** この点が私と認識の大きな違いである。第1次分の全員支給を求める6,350人の署名をど

う受けとめるか。

**市長** 節目支給は合併協議会で決めて頂いた。これを変えることはどうかと思う。

**意見** 決まったことでも変えてはいけない法律はない。過去の市長自身は一例では旧末吉町議会は池田議員も賛成して「先人の館（美術館等）建設を決議した。しかし、その後池田町長は議会が決めたことでも建設しなかったではないか。池田

市長が全員支給に戻すまで、今後とも署名運動を続けていきたい。

市の四役は曾於市  
全体を知る努力を

**問** 市民の気持ちにあった市政の舵取りを行うには、市内全域に足を運び、市民と対話を深めることができなにか。市の四役は合併後この2年間自分の出身以外の旧2カ町にどれだけ足を運ぶ努力をされたか。

**市長** 大隅、財部は百数十カ所足を運んだ。

**中山副市長** 財部は123自治会中26、大隅は141自治会中42自治会に足を運んだ。

**末廣副市長** 末吉は22自治会中34、大隅は141自治会中39自治会に足を運んだ。

**植村教育長** 財部は123自治会中23、末吉は222自治会中34自治会に足を運んだ。

**問** 私自身これまで共産

党議会だよりを配付してきた。特に市の四役は市内の全域を知らずして舵取りは難しい。今後2年間すべての自治会に足を運ぶべきではないか。

**四役**（それぞれの答弁）目標達成に努力したい。

あらたな負担となる  
高齢者医療制度について

**問** 来年4月から75歳以上はすべて新しい医療保険への加入が義務付けられ、保険料は年金からの天引きである。これはお年寄りにとって新たな負担ではないか。

**高良保健福祉課長** 曾於市では8,071人程度が対象となる。見方によっては新たな負担となる。



敬老祝金を届ける市長



大隅町各校区の地区振興大会

# 農業振興策の重要項目は

## 市長／畜産の振興と畑かん営農の推進



松田 司 議員

**松田司議員** 曾於市の農業生産額が平成17年度全国で第9位と高い実績が評価されたが、今後何を重点に取り組まれるかその見解を求める。  
**池田市長** 今後も特別家畜導入事業や堆肥舎建設、牛舎建設補助、スタ



ボラ層が残る折田地区

ンチョン設置補助等の事業を継続し、地域一貫・経営内一貫生産体系の推進、低コスト高品質の生産技術普及、畑かんを利用した営農推進啓発に努める。

**問** 高齢化で農家戸数は10年以内に大きく減少すると思われ、担い手育成が急務と考えられるがその対応は。認定農家戸数は。

**市長** 農業後継者育成と新規就農者への対策として、新規就農者支援対策事業概ね40歳以下の新規

就農者に対して月5万円から12万円を補助している。

現在の受給者数は36名で月120万円の補助である。また認定農業者は589人である。

**問** 高齢化と農業戸数の減少で10年後はどうなるのか。国は平成27年までに全国で現在より10万頭の増頭計画であるが、曾於地区で24,000頭の子牛販売頭数の維持は可能か。人材育成、畜舎計画、導入補助、自給飼料対策、補助対策は。

**市長** 平成17年度策定された肉用牛生産近代化計画において計画時は28,262頭、平成27年度では31,000頭と想定され、2,738頭の増となり24,000頭以上の子牛出荷頭

数は可能である。

人材育成については、市の農業後継者等育成事業、農業高校生、新規農業者、農業後継者の育成に努める。

畜舎計画、導入補助、自給飼料対策として飼養頭数維持を拡大するため建設を推進する。導入補助は引き続き行う。

自給飼料対策として、濃厚飼料高騰により、良質粗飼料の確保は重要な課題であり、乾燥やラップサイレージ作りは地域の中核農家、グループ等で推進するよう指導していく。

### 北部畑かん推進について

**問** 国は今回事業見直しの同意を得て工事施工中であるが、市として今後、畑かん事業を推進されるか具体策は。

**市長** 今後畑かん事業推進については、水を利用した生産性の高い畑作営

農を目指して

各地区にモデル実証用を設置し、かん水技術、栽培技術の指導等の実証展示、水を利用した営農の啓発推進に努める。

**問** 畑かんの必要性は認識するが、未整備地区への効果が無いと思いが。

**市長** 今後、未整備地区の圃場整備に取り組んでいく。

### 同日開催の市行事について

**問** 5月20日の旧末吉町の花房峡憩いの森ジョギング大会と旧財部町のどろんこ大会が同日開催された理由は。

**市長** 調整がつかず同日開催となったが、今後、事前に連携をとり重複し



盛り上がりをみせるどろんこ大会

ないよう日程調整に努めていく。

**問** どろんこ大会に参加して感動した。曾於市の一大イベントとして広くアピールの必要があると思うか。

**市長** 82チーム計800人を超す参加者があり盛大に開催された。今後、曾於市の一大イベントとして取り組んでいく。